

The background of the entire page is a dense, abstract texture of blue and white, resembling marbled paper or a microscopic view of a material. The colors range from light sky blue to deep navy blue, with white and light grey speckles and streaks interspersed throughout.

MORE FUN, MORE SMILES

SUSTAINABILITY REPORT 2025

株式会社 錦糸町ステーションビル

これからも錦糸町とともに発展し、明るい未来をつくり出すために——。

私たちは、環境保全に取り組みながら、時代の変化に適合した新しい価値を提供しつづけ、地域活性化と地域の社会課題解決に貢献していきます。その実現にあたって、社員一人ひとりが健康であり、幸せであることはとても大きな原動力となります。多様な人材がさまざまな働き方で活躍できる仕組みをつくり、働きがいを持てる企業へと成長します。

1961年の開業から支えてくださった地域のみなさまやお客さまへの感謝を忘れず、まちに活気と笑顔を導く存在でありつづけます。

サステナビリティポリシー



MORE FUN, MORE SMILES

錦糸町とつくる。活気と笑顔があふれる未来

4つの取り組みテーマ



PROTECT



環境をまもる

すべてのステークホルダーとともに、今世界で起きている気候変動への対応や限りある資源循環の仕組みづくりに取り組みます。協働によって生み出される大きな力で、カーボンニュートラルと循環型社会の実現を目指し、安心安全な地域づくりに貢献します。

- ✓ 環境負荷の見える化と低減
- ✓ 取引先と協働した資源・廃棄物の循環仕組みづくりと食品ロスの削減
- ✓ 環境に優しい資源の選択
- ✓ 環境を考慮した出店スキームの仕組みづくり

SUSTAINABLE



場を提供しつづける

生活スタイルや価値観など常に時代の波を的確に捉えながら、お客さまと地域社会に新しい価値を提供しつづけます。

錦糸町駅の駅ビルとして意義を果たすため、持続可能な運営をおこない、お客さまの“こころ通う、まいにち”を叶えます。

- ✓ リアルショッピングの感動創出およびオンラインを融合させた顧客体験価値の向上
- ✓ 持続可能な営業基盤の構築
- ✓ 多種多様なデータの活用とデジタル化推進による運営変革
- ✓ チームテレミナスタッフの働きがい追求

CO-CREATION



地域とつくる

開業以来培ったつながりを大切にしながら、地域に根差した施設運営、行政や地元企業、学校などとの共創を推進します。

錦糸町にさらなる活気を生み出し、エリアの価値向上や安心安全なまちづくりに尽力します。

- ✓ パートナーシップ構築による地域との社会課題解決に向けた取り組み
- ✓ エリア価値向上につながる地域産業の活性化
- ✓ “まちの防災拠点化”をはじめとした安心安全なまちづくり
- ✓ 地域へのさまざまな体験活動の機会創出

WELL-BEING



社員とともに

多様な人材が活躍できるよう、働き方や業務効率化などモチベーションアップにつながる仕組みをつくり、互いに感謝し合える、風通しの良い職場を目指します。

ワーク&ライフ インテグレーションを浸透、定着させ、社員とその家族の Well-beingを実現します。

- ✓ 女性活躍推進をはじめ、多様な人材が輝ける仕組みづくり
- ✓ 成長機会の創出
- ✓ Well-beingの実現
- ✓ エンゲージメント向上



4つの取り組みテーマ

1. 環境をまもる PROTECT

JR東日本グループ 「ゼロカーボン・チャレンジ2050」



JR東日本グループは、2050年度CO2排出量実質ゼロに向けて、「ゼロカーボン・チャレンジ2050」を掲げています。

テルミナは、JR東日本グループとして、2030年度までに2013年度比CO2排出量50%削減と、2050年度までにCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボン・チャレンジ2050」に参画しています。

循環型社会実現に向けたリサイクル体制強化

2025年度から食品廃棄物の100%リサイクル実現を目指し、体制づくりを進め、食品廃棄物のリサイクル工場への持込回数を増すため、委託先の見直しを行いました。また、ゴミの捨て方などのサインを設置し、ごみ集積所を「リサイクルステーション」として刷新。これにより、再資源化率の向上を図り、今後も循環型社会の実現に向けた取り組みを強化していきます。



「すみだcoffeeloop」への参加

2024年1月より、墨田区や墨田区の企業が中心となり推進する「すみだcoffeeloop」に参加しています。この取り組みは、コーヒーかすをゴミではなく資源として回収し、バイオマスプラスチックへ再生することで、コーヒーカップなどの日用品にアップサイクルし、日常への普及を目指すものです。当社では、この活動に賛同し、毎月1回コーヒーかすの提供を行っています。



花かんむりワークショップ



2024年5月、母の日に合わせ、親子連れを対象に植物の剪定材やロスフラワーを活用した花かんむりワークショップを開催。50組が参加し、多くがSNSで発信するなど高い関心が示されました。ロスフラワーを初めて認知する方も多く、啓発活動として意義が確認できました。

廃材万華鏡ワークショップ



2024年7月、ファミリーのお客さまを対象に地域連携として一般社団法人配材プロジェクトとSDGs啓発を兼ねた万華鏡づくりワークショップを開催。未就学児から大人まで熱心に取り組み、50名分のキットが完売するなど高い関心が寄せられ、体験を通じた意識向上に貢献しました。

※KPIの数値および実績、ならびにサステナビリティ関連データについては、裏表紙に記載しております。

2. 場を提供しつづける SUSTAINABLE

フロア担当強化によるショップ連携と売上向上



昨年に引き続き、ショップコミュニケーション向上と売上拡大を目的に7回の研修を実施。フロアマネジメントや店舗数値分析、ABC分析による顧客把握、LIFO診断、コミュニケーション手法、対人関係スキル向上、本部面談のフォローアップなど幅広く行いました。各回事前課題と振り返りを実施し、研修内容をショップ店長や本部面談に活かすことで効果を最大化しました。

未来を支える学び：
デジタルスキルの向上

2024年11月より、デジタル人材の不足やデジタル推進の重要性の高まりを踏まえ、社員のスキル向上と業務効率化を目的として、Udemyによるeラーニングを導入しました。2024年度は、延べ22名が合計72時間の研修を受講し、AIやデータ分析、業務改善などの最新技術の習得を行い、実務に活用しています。本研修を通じて、変化への対応力と競争力強化を図っています。



VOICE!

異動から1年、フロア担当者の皆様の温かな支援と迅速な対応に感謝しています。本部面談を通じた情報共有や、ショップ研修・講演会・勉強会など学びの機会も充実しており、働きやすい環境が整っています。



新宿さばてん 店長
多田 由里子さん

VOICE!

店舗状況や販促に関する助言に加え、販売研修や意見交換を通じて人材育成の場をご提供いただきました。今後は本部としても連携をさらに深め、共に売上拡大を目指していきます。



(株)さばてん東日本
アシスタントマネージャー
傳 一翔さん

錦糸町駅周辺商業施設向け従業員優待サービス



錦糸町駅近隣の商業施設従業員の内需獲得や売上向上、従業員満足度向上、関係性強化、地域の魅力向上および地域社会への貢献を目的に、アルカキット、パルコ、楽天地、マルイ、テルミナの5施設共通従業員優待サービスを2024年8月より開始。年に2回、優待内容を更新し利用拡大を図っております。初年度の取り組みにもかかわらず、新たに参加を希望する施設もあり、今後も継続的な実施を予定しています。

VOICE!

テルミナの優待サービスを利用して度々「東京純豆腐」でランチを楽しんでいます。優待サービスではドリンクがサービスしてもらえて、休憩時間をリラックスして過ごすことができるので、午後の仕事も頑張れます！



JR東日本錦糸町
営業統括センター 所長
前原 奈緒子さん

4つの取り組みテーマ

3. 地域とつくる CO-CREATION

地元企業のチャレンジ出店スキームの確立



地元企業の活性化を目的に、当社では出店プランを①常設出店②有人催事出店③無人催事出店④イベント出店⑤EC出店の5つにメニュー化し、地域企業向けに案内を作成しました。2025年3月には、有人催事出店した墨田区「カナリアサンドイッチ」が常設出店へと展開。加えて、地元企業を発掘するフィールドワークも実施し、地域とのつながりを深めながら出店プランの認知度向上に努めています。

墨田区 障がい者との交流の場「スカイワゴン」の開催



2025年2月8日～11日の4日間、墨田区の推進事業「スカイワゴン」を誘致し、館内で障がい者福祉支援を目的とした販売イベントを開催。墨田区内作業所で制作された物品や焼菓子施設利用者もスタッフと共に販売し、多くのお客様にご来場いただき、売上は想定を上回る成果を上げることができました。地域貢献や福祉支援に加え、地域社会とのつながり強化にも寄与する意義のある取り組みとなりました。

地域ECとリアル催事による新たな顧客接点の創出



2024年度は、「テルミナ JRE MALL 店」に出店している墨田区の地元企業4社が、テルミナ 地階フロアにてPOPUPショップを開催しました。この取り組みは、地元企業にリアルな販売・情報発信の場を提供するとともに、認知度の向上を目的としています。手軽に出店ができる点は、好評を博しており、出店希望も多く、地域事業者との関係構築にも貢献しています。

錦糸町駅前清掃活動



駅周辺の環境美化を目的に、2010年6月より清掃活動を実施。駅南口から北口前までを対象に、2024年度は9回の清掃を行い、22kgのゴミを回収しました。継続的な取り組みにより、快適な駅環境の維持に貢献しています。

VOICE!



株式会社 マキネスティコーヒー
副社長 辻 英子さん

弊社は、2019年秋に実店舗を初出店。会話を通じ、何年もテルミナをご利用いただく方が多く、ここまで地元とつながる駅ビルは他にないと感じております。POPUPショップでは、地元の方々との交流が楽しみです。一般的に「駅ビルは、利便性で立ち寄り場所」の印象がありますが、テルミナは「地元」に根ざした存在です。POPUPショップに加え、「テルミナ JRE MALL 店」でも安心と信用を大切に、お客様との接点を広げてまいります。

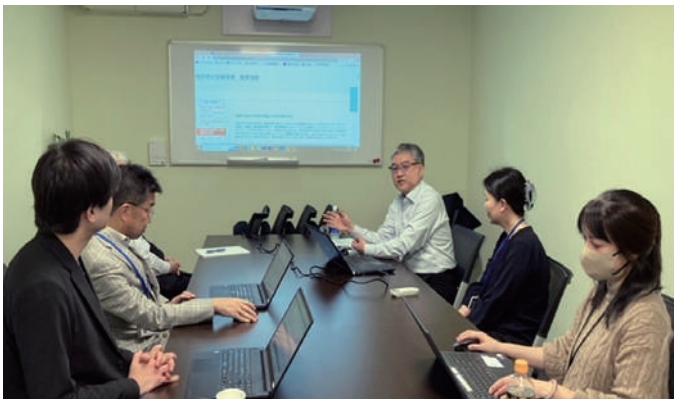
※KPIの数値および実績、ならびにサステナビリティ関連データについては、裏表紙に記載しております。



4つの取り組みテーマ 4. 社員とともに WELL-BEING

衛生委員会の発足

2024年4月、社員が生き生きと働き活躍できる職場環境づくりと健康経営の推進を目的に、産業医を選任し「安全衛生管理規程」を改正、社内衛生委員と産業医による衛生委員会を発足しました。委員会では毎月、季節に合わせた講話や法定外労働時間・年休取得・健康診断受診状況の報告、執務室や休憩室の巡視を実施。産業医による面談を通じ、社員が相談しやすい体制を整え、働きがい向上と健康維持に貢献しています。



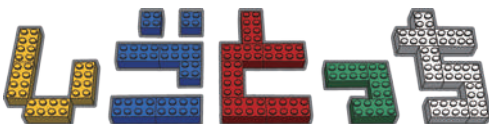
「サステナビリティアワード2024」の開催



社員がサステナビリティへの取り組みを自分ごととして捉え意識向上を図るため、昨年に引き続き2025年4月に「サステナビリティアワード2024」を開催。本年度は7件のエントリーがあり、昨年の取り組みを踏まえ、より実務に直結した内容に進化。事例共有を通じ方針浸透と取り組み推進を図り、講評では日常業務での意識継続の重要性が示されました。

監修・講評／株式会社YUIDEA

チームビルディング



職場のチームワークとモチベーション向上を目的に、全社員を対象とした「チームビルディング研修」を開催。架空の玩具会社で営業・管理・広報部門に分かれ、ブロックで玩具を作成し宣伝・安全性確認を経て市場に発表するゲーム型研修「しごとっち」を実施しました。協力して課題を達成する中で、異なる立場の理解や相手を尊重する重要性を体感し、社員の学びにつながりました。



※KPIの数値および実績、ならびにサステナビリティ関連データについては、裏表紙に記載しております。

VOICE! /



経理部
柴崎 仁美さん

「しごとっち」で商品開発・品質管理という通常の担当業務と異なる仕事を経験し、部署に関係なくチームとしての目標に取り組む充実感を感じるとともに、立場の異なる人・部署への働きかけの大切さ・難しさを学びました。

未来へつなぐサステナビリティの道のり

2022年9月にプロジェクトを始め、
地域と未来のために少しずつ歩みを重ねています。



- 2021 年度以前
 - ・ 館内照明の LED 化・駅前エリアの清掃活動
 - ・ 「錦糸町を元気にする会」 参画を通じた地元イベントへの積極参加開始
- 2022 年度
 - ・ 「シエロイリオ ヒガシ」 出店を契機とした地元企業出店サポート強化の開始
 - ・ 「ハロー！ イースト東京」 地元情報発信サイトの運営開始
 - ・ EC 事業の開始
 - ・ サステナビリティ基本方針策定に向けたプロジェクトの発足
目指すべき未来像を明確化するとともに、環境・社会・経済の観点から優先課題を抽出し、社会からの要請と当社事業への影響度を踏まえて重要課題を特定しました。特定した課題については、全社員へのヒアリングや一部取引先からの意見収集を行い、得られた知見を反映して具体的な取り組み目標を策定しました。
- 2023 年度
 - ・ 館内情報動画「TERMINow（テルミナウ）」配信開始
 - ・ サステナビリティをテーマにしたイベントの開始
 - ・ EC 事業参画ショップによる POPUP ショップ展開開始
 - ・ サステナビリティポリシーの策定・社内承認
 - ・ 社内向けサステナビリティ啓発ウェビナーの実施
 - ・ 社内向けサステナビリティ啓発ワークショップの実施
 - ・ 出店テナントさま向け「ごみの勉強会」の開始
- 2024 年度
 - ・ 「すみだ coffeeloop」への参加開始
 - ・ 第1回「サステナビリティアワード 2023」開催
 - ・ 衛生委員会を発足
 - ・ 錦糸町駅周辺商業施設向け従業員優待サービスの開始
 - ・ 地元企業のチャレンジ出店スキームの制度化開始
 - ・ 「Udemy」を活用したデジタルスキル向上施策の開始
 - ・ サステナビリティ目標達成に向けた KPI の設定
 - ・ 「サステナビリティレポート 2024」の編集・発行
 - ・ サステナビリティ関連情報の発信強化に向けた WEB サイトの改修

未来へつづく

表紙について

墨田区の社会福祉事業所に通う障がい者の才能と個性を引き出し、平等な支援を通じて多様性と共生社会の実現を目指すため、「亀沢のぞみの家」の感覚刺激イラストを採用しました。



「亀沢のぞみの家」感覚刺激イラスト

墨田区の「亀沢のぞみの家」では、心身に障がいのある方たちの興味や関心を大切にしながらワクワクと楽しい経験をたくさんできるような取り組みを行っています。「感覚」を「刺激」する目的で創作活動にも取り組み、アクリル絵の具で絵や模様を描くことを行っています。

※売上の一部は、絵を描いたメンバーの工賃として役立てられます。

重要業績評価指標

Key Performance Indicator

データ対象範囲：株式会社錦糸町ステーションビル

取り組みテーマ	サブ課題	KPI	2030年度達成目標	2023年度	2024 年度
環境をまもる	環境負荷の見える化と低減	CO2排出量削減	2,486千kwh／ 2013年度比50%削減	37％削減	35％削減
		エネルギー原単位	毎年1％削減 (5年間平均)	0.1％削減	1.8％増加
		エネルギー消費量	設定なし	1,318kl	1,362kl
	取引先と協働した資源・廃棄物の 循環仕組みづくりと食品ロスの削減	食料品廃棄物 リサイクル率	100%	17%	19%
社員とともに	女性活躍推進をはじめ、 多様な人材が輝ける仕組みづくり	育児休業取得率 (男女別)	100% (男性100%/女性100%)	100% (男性100%/女性100%)	- (※該当なし)
		育児休業後、従業員の定着率 (男女別)	100% (男性100%/女性100%)	100% (男性100%/女性100%)	100% (男性100%/女性100%)
		人権尊重研修受講率	100%	100%	100%
		女性管理職比率	40%以上維持	41%	38.9%
	Well-beingの実現	年次有給休暇取得率	95%	91.4%	89.6%
		ストレスチェック受検率	95%	90.6%	93.3%
		月間所定外労働時間	10時間以下	11時間22分	11時間51 分

サステナビリティデータ	2023年度実績	2024 年度実績
従業員数（男女別）	41 名(男性23名／女性18名)	44 名(男性25 名／女性19 名)
平均年齢	45.3 歳	45.1 歳
採用人数	3 名 ※出向者・出向復帰者を除いています	4 名 ※出向者・出向復帰者を除いています
離職率	4.6％ ※出向者・出向復帰者を除いています	4.5％ ※出向者・出向復帰者を除いています
人間ドック・健康診断受診率	100％	100％
SDGs イベント数	3 件	3 件
地域ショップ機会創出・総店舗数	常設25ショップ／POPUP 9ショップ	常設26 ショップ／POPUP 8 ショップ
地域との協働イベント件数	8 件	10 件

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日
(一部、報告対象期間前後の報告も含まれます。)

発行時期 2025年10月発行

TERMINA

株式会社 錦糸町ステーションビル
〒130-8580
東京都墨田区江東橋3-14-5
<https://www.termina.info/>